

レッスン 3



TWT BIBLE SCHOOL

学生用ノート | 日本語

I. 国々と言語の起源

A. 人々は再び神の計画を変えようとした

創世記11:2-6「時に人々は東に移り、シナルの地に平野を得て、そこに住んだ。³彼らは互に言った、「さあ、れんがを造って、よく焼こう」。こうして彼らは石の代りに、れんがを得、しっくいの代りに、アスファルトを得た。⁴彼らはまた言った、「さあ、町と塔とを建てて、その頂を天に届かせよう。そしてわれわれは名を上げて、全地のおもてに散るのを免れよう」。⁵時に主は下って、人の子たちの建てる町と塔とを見て、⁶言われた、「民は一つで、みな同じ言葉である。彼らはすでにこの事をしはじめた。彼らがしようとする事は、もはや何事もとどめ得ないであろう。」

質問:これは創世記にある三つの一般的な誘惑のうち、どれに当たるでしょうか。

答え: _____ (1ヨハネ2:16)

- 人々は、自分たちで神の計画を変えることができると思い、自分たちが正しいと思うことを行おうとします。

箴言14:12「人が見て自ら正しいとする道でも、その終りはついに死に至る道となるものがある。」



1: 私たちは自分の道で生きることはできません。_____で生きなければならないのです。

- 私たちは創造された本来の目的を果たすことになります。それは神に栄光を帰すことです。

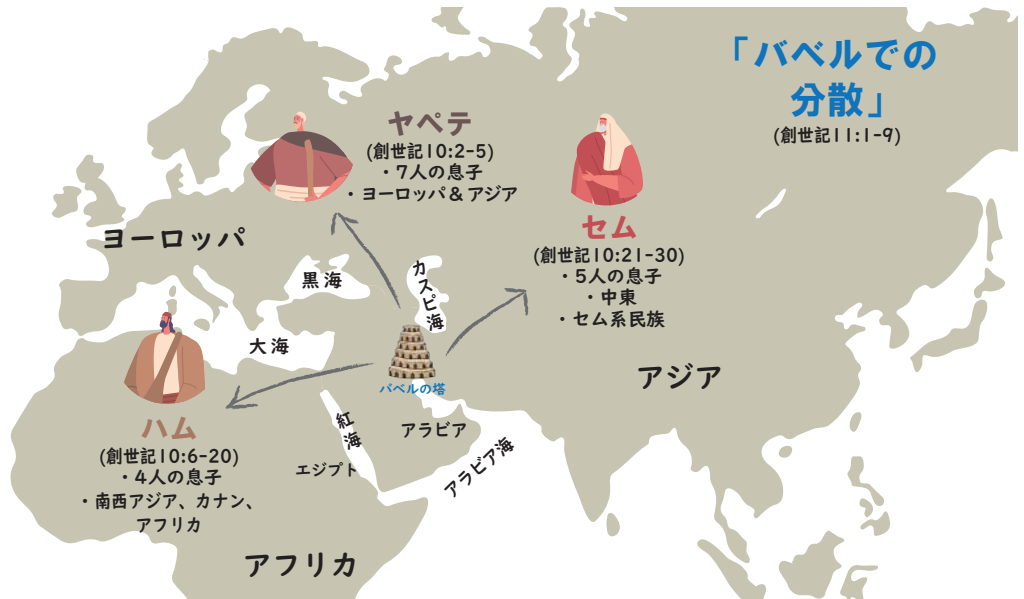
黙示録4:11「われらの主なる神よ、あなたこそは、栄光とほまれと力とを受けるにふさわしいかた。あなたは万物を造られました。御旨によって、万物は存在し、また造られたのであります。」

B. 神によって異なる言語が与えられた

創世記11:7-9「さあ、われわれは下って行って、そこで彼らの言葉を乱し、互に言葉が通じないようにしよう」。⁸こうして主が彼らをそこから全地のおもてに散らされたので、彼らは町を建てるのをやめた。⁹これによってその町の名はバベルと呼ばれた。主がそこで全地の言葉を乱されたからである。主はそこから彼らを全地のおもてに散らされた。」

C. 諸国民の形成

- セム、ハム、ヤペテの家族が分かれていき、そこから国々が形成されていきました。セムの系統から、アブラム(後のアブラハム)が現れます。神はアブラムを導き、やがてイスラエルと呼ばれる家族と国民が始まることになります。



II. 族長の時代

A. 族長とは家族または氏族の男性の長のこと

1. アブラハム、イサク、ヤコブは、ユダヤ民族の指導者、または創始者でした。

創世記12:1-3 「時に主はアブラムに言われた、「あなたは国を出て、親族に別れ、父の家を離れ、わたしが示す地に行きなさい。²わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大きくしよう。あなたは祝福の基となるであろう。³あなたを祝福する者をわたしは祝福し、／あなたをのろう者をわたしはのろう。地のすべてのやからは、／あなたによって祝福される。」

2. 神との歩みの初めのころ、アブラハムは私たちと同じように信仰の葛藤を経験しました。

創世記12:11-13 「エジプトにはいろいろとして、そこに近づいたとき、彼は妻サライに言った、「わたしはあなたが美しい女であることを知っています。¹²それでエジプトびとがあなたを見る時、これは彼の妻であると言ってわたしを殺し、あなたを生かしておくでしょう。¹³どうかあなたは、わたしの妹だと言ってください。そうすればわたしはあなたのおかげで無事であり、わたしの命はあなたによって助かるでしょう。」

3. 使徒パウロも、最初は全く違う人物でした。しかし、神が彼を変えてくださることを受け入れたとき、彼は良い方向へと変えられました。

使徒行伝8:3「ところが、サウロは家々に押し入って、男や女を引きずり出し、次々に獄に渡して、教会を荒し回った。」

使徒行伝9:1-2「さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅迫、殺害の息をはずませながら、大祭司のところに行き、²ダマスコの諸会堂あての添書を求めた。それは、この道の者を見つけ次第、男女の別なく縛りあげて、エルサレムにひっぱって来るためであった。」

B. なぜ神はアブラハムを選び、またユダヤ人を「選ばれた民」として用いられたのでしょうか。

1. 彼が神に従ったから。

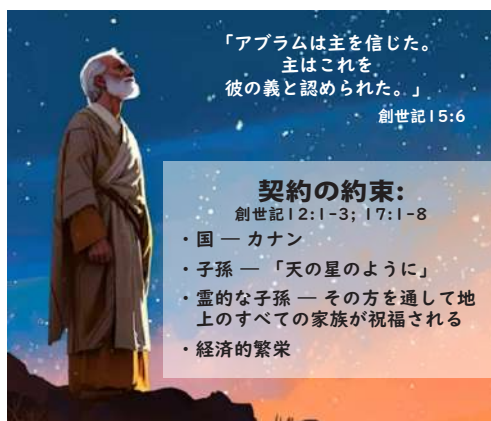
創世記12:4「アブラムは主が言われたようにいで立った。ロトも彼と共にいった。アブラムはハランを出たとき七十五歳であった。」

2. 彼は神を信じました!

創世記15:6「アブラムは主を信じた。主はこれを彼の義と認められた。」



#2: 従順は、神の契約を受け入れる際の人間の側の役割です。



C. アラブ諸国の始まり

1. 主はアブラハムに、多くの子孫を約束されました。

創世記15:5「そして主は彼を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また彼に言われた、「あなたの子孫はあのようなになるでしょう。」

2. アブラハムとサラは自分たちの方法で問題を解決しようとしてしました。

創世記16:1-4「アブラムの妻サラは子を産まなかった。彼女にひとりのつかえめがあった。エジプトの女で名をハガルといった。²サラはアブラムに言った、「主はわたしに子をお授けになりません。どうぞ、わたしのつかえめの所におはいりください。彼女によってわたしは子をもつことになるでしょう」。アブラムはサラの言葉を聞きいれた。³アブラムの妻サラはそのつかえめエジプトの女ハガルをとって、夫アブラムに妻として与えた。これはアブラムがカナンの地に十年住んだ後であった。⁴彼はハガルの所にはいり、ハガルは子をはらんだ。彼女は自分のはらんだのを見て、女主人を見下げるようになった。」

3. イシマエルの誕生

創世記16:15-16「ハガルはアブラムに男の子を産んだ。アブラムはハガルが産んだ子の名をイシマエルと名づけた。¹⁶ハガルがイシマエルをアブラムに産んだ時、アブラムは八十六歳であった。」

D. 神とアブラハムとの契約

1. 神はアブラハムに取り消されることのない契約を与えられました。

創世記17:4-8「わたしはあなたと契約を結ぶ。あなたは多くの国民の父となるであろう。⁵あなたの名は、もはやアブラムとは言われず、／あなたの名はアブラハムと呼ばれるであろう。わたしはあなたを多くの国民の／父とするからである。⁶わたしはあなたに多くの子孫を得させ、国々の民をあなたから起そう。また、王たちもあなたから出るであろう。⁷わたしはあなた及び後の代々の子孫と契約を立てて、永遠の契約とし、あなたと後の子孫との神となるであろう。⁸わたしはあなたと後の子孫とにあなたの宿っているこの地、すなわちカナンカナンの全地を永久の所有として与える。そしてわたしは彼らの神となるであろう。」

2. 神の契約のしるしは割礼でした。

創世記17:9-14「神はまたアブラハムに言われた、「あなたと後の子孫とは共に代々わたしの契約を守らなければならない。あなたがたのうち¹⁰男子はみな割礼を

うけなければならない。**これはわたしとあなたがた及び後の子孫との間のわたしの契約であって、あなたがたの守るべきものである。**

¹¹あなたがたは前の皮に割礼を受けなければならない。それがわたしとあなたがたとの間の契約のしるしとなるであろう。¹²あなたがたのうちの男子はみな代々、家に生れた者も、また異邦人から銀で買い取った、あなた

の子孫でない者も、生れて八日目に割礼を受けなければならない。¹³あなたの家に生れた者も、あなたが銀で買い取った者も必ず割礼を受けなければならない。こうしてわたしの契約はあなたがたの身にあって永遠の契約となるであろう。¹⁴割礼を受けない男子、すなわち前の皮を切らない者はわたしの契約を破るゆえ、その人は民のうちから断たれるであろう。」

神の契約のしるし
(割礼)

創世記17:10-14



3. イサクにおいて契約が再び確立される

創世記17:15-22「神はまたアブラハムに言われた、「あなたの妻サライは、もはや名をサライといわず、名を**サラ**と言いなさい。¹⁶わたしは彼女を祝福し、また彼女によって、あなたにひとりの男の子を授けよう。わたしは彼女を祝福し、彼女を国々の民の母としよう。彼女から、もろもろの民の王たちが出るであろう」。¹⁷アブラハムはひれ伏して笑い、心の中で言った、「百歳の者にどうして子が生れよう。サラはまた九十歳にもなって、どうして産むことができるか」。¹⁸そしてアブラハムは神に言った、「どうかイシマエルがあなたの前に生きながらえますように」。¹⁹神は言われた、「いや、あなたの妻サラはあなたに男の子を産むでしょう。名を**イサク**と名づけなさい。わたしは彼と契約を立てて、後の子孫のために永遠の契約としよう。²⁰またイシマエルについてはあなたの願いを聞いた。わたしは彼を祝福して多くの子孫を得させ、大いにそれを増すであろう。彼は十二人の君たちを生むであろう。わたしは彼を大いなる国民としよう。²¹しかしわたしは来年の今ごろサラがあなたに産む**イサクと、わたしの契約を立てるであろう**」。²²神はアブラハムと語り終え、彼を離れて、のぼられた。」

4. 契約におけるアブラハムの役割

創世記17:23-24「アブラハムは神が自分に言われたように、この日その子イシマエルと、すべて家に生れた者およびすべて銀で買い取った者、すなわちアブラハムの家の人々のうち、すべての男子を連れてきて、前の皮に割礼を施した。²⁴アブラハムが前の皮に割礼を受けた時は九十九歳、」



#3: 今日の私たちの_____にも「割礼」が含まれています。

5. 新約聖書の教会でも割礼は行われています。

a. **ローマ2:28-29**「というのは、外見上のユダヤ人がユダヤ人ではなく、また、外見上の肉における割礼が割礼でもない。²⁹かえって、隠れたユダヤ人がユダヤ人であり、また、文字によらず霊による心の割礼こそ割礼であって、そのほまれは人からではなく、神から来るのである。」

b. **コロサイ2:11-12**「あなたがたはまた、彼にあって、**手によらない割礼**、すなわち、キリストの割礼を受けて、肉のからだを脱ぎ捨てたのである。¹²あなたがたは**バプテスマ**を受けて彼と共に葬られ、同時に、彼を死人の中からよみがえらせた神の力を信じる信仰によって、彼と共によみがえらされたのである。」

イエス・キリストを信じる者は、
「その信仰が義と認められるのである。」

ローマ4:3-5

水のバプテスマは、新しい契約に入るしるしです。

コロサイ2:11-12



- c. **ガラテヤ3:27-29**「キリストに合うバプテスマを受けたあなたがたは、皆キリストを着たのである。²⁸もはや、ユダヤ人もギリシヤ人もなく、奴隷も自由人もなく、男も女もない。あなたがたは皆、キリスト・イエスにあって一つだからである。²⁹もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。」



異邦人もアブラハムの相続人となる。

創世記3:1-29

質問：今日の私たちの救いにおいて、割礼はどこで起こるのでしょうか。

答え：_____においてです。

「もしキリストのものであるなら、あなたがたはアブラハムの子孫であり、約束による相続人なのである。」

ガラテヤ3:29

6. 水のバプテスマは、古い罪深い肉の人を切り離すこと、すなわち葬ることを意味します。水のバプテスマは、新しい契約に入るために不可欠です。なぜなら、霊的な割礼が行われる場所だからです。

E. ソドムとゴモラの滅び

1. 神はアブラハムを訪れ、来たるべき滅びについて彼に語られました。

創世記18:1-2「主はマムレのテレビンの木のかたわらでアブラハムに現れられた。それは昼の暑いころで、彼は天幕の入口にすわっていたが、²目を上げて見ると、三人の人が彼に向かって立っていた。彼はこれを見て、天幕の入口から走って行って彼らを迎え、地に身をかがめて、」

注：一人は神の現れであり、残りの二人は御使いでした。

創世記19:1「そのふたりのみ使は夕暮にソドムに着いた。そのときロトはソドムの門にすわっていた。」

ヘブル13:2「旅人をもてなすことを忘れてはならない。このようにして、ある人々は、気づかないで御使たちをもてなした。」

2. 神はアブラハムに、ご自分が何をしようとしているのかを告げられました。

創世記18:16-21「その人々はそこを立ててソドムの方に向かったので、アブラハムは彼らを見送って共に行った。¹⁷時に主は言われた、「わたしのしようとする事をアブラハムに隠してよいであろうか。¹⁸アブラハムは必ず大きな強い国民となって、地のすべての民がみな、彼によって祝福を受けるのではないか。¹⁹わたしは彼が後の子らと家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公道とを行わせるために彼を知ったのである。これは主がかつてアブラハムについて言った事を彼の上に臨ませるためである」。²⁰主はまた言われた、「ソドムとゴモラの叫びは大きく、またその罪は非常に重いので、²¹わたしはいま下って、わたしに届いた叫びのとおり、すべて彼らがおこなっているかどうかを見て、それを知ろう。」」



アブラハムとロトは別れる
創世記13:8-13

3. アブラハムは、もしその町に正しい人が見つかるなら、町を滅ぼさないでくださいと神に願い求めました。

創世記18:32「アブラハムは言った、「わが主よ、どうかお怒りにならぬよう。わたしはいま一度申します、もしそこに十人いたら」。主は言われた、「わたしはその十人のために滅ぼさないであろう。」



#4: 神の契約に従う人々は、神の導きと守りを受けます。

4. ソドムとゴモラの罪の深さは、**創世記19:1-16**に示されています。
5. 神は、アブラハムの祈りを覚えておられ、ロトを救い出されました。

創世記19:29「こうして神が低地の町々をこぼたれた時、すなわちロトの住んでいた町々を滅ぼされた時、神はアブラハムを覚えて、その滅びの中からロトを救い出された。」

ユダ7「ソドム、ゴモラも、まわりの町々も、同様であって、同じように淫行にふけり、不自然な肉欲に走ったので、永遠の火の刑罰を受け、人々の見せしめにされている。」



6. 聖書は、ロトの妻を覚えていなさいと教えています。

創世記19:17「彼らを外に連れ出した時そのひとりと言った、「のがれて、自分の命を救いなさい。うしろをふりかえって見てはならない。低地にはどこにも立ち止まってはならない。山にのがれなさい。そうしなければ、あなたは滅びます」。」

創世記19:26「しかしロトの妻はうしろを顧みたので塩の柱になった。」

マタイ6:21「あなたの宝のある所には、心もあるからである。」

F. アブラハムの究極の試練

1. イサクは、アブラハムが100歳、サラが90歳のときに生まれました。

創世記21:1-5「主は、さきに言われたようにサラを顧み、告げられたようにサラに行われた。²サラはみごもり、神がアブラハムに告げられた時になって、年老いたアブラハムに男の子を産んだ。³アブラハムは生れた子、サラが産んだ男の子の名をイサクと名づけた。⁴アブラハムは神が命じられたように八日目にその子イサクに割礼を施した。⁵アブラハムはその子イサクが生れた時百歳であつた。」

2. 神はアブラハムに、ひとり子をささげるよう命じられました。

創世記22:1-2「これらの事の後、神はアブラハムを試みて彼に言われた、「アブラハムよ。彼は言った、「ここにあります」。²神は言われた、「あなたの子、あなたの愛するひとり子イサクを連れてモリヤの地に行き、わたしが示す山で彼を燔祭としてささげなさい。」

3. アブラハムは従順であり、二人とも戻って来ると信じる信仰を持っていました。

創世記22:3-8「アブラハムは朝はやく起きて、ろばにくらを置き、ふたりの若者と、その子イサクとを連れ、また燔祭のたきぎを割り、立って神が示された所に出かけた。⁴三日目に、アブラハムは目をあげて、はるかにその場所を見た。⁵そこでアブラハムは若者たちに言った、「あなたがたは、ろばと一緒にここにいなさい。わたしとわらべは向こうへ行行って礼拝し、そののち、あなたがたの所に帰ってきます」。⁶アブラハムは燔祭のたきぎを取って、その子イサクに負わせ、手に火と刃物とを執って、ふたり一緒に行った。⁷やがてイサクは父アブラハムに言った、「父よ」。彼は答えた、「子よ、わたしはここにいます」。イサクは言った、「火とたきぎとはありますが、燔祭の小羊はどこにありますか」。⁸アブラハムは言った、「子よ、神みずから燔祭の小羊を備えてくださるであろう」。こうしてふたりは一緒に行った。」

ヘブル11:17-19「信仰によって、アブラハムは、試練を受けたとき、イサクをささげた。すなわち、約束を受けていた彼が、そのひとり子をささげたのである。¹⁸この子については、「イサクから出る者が、あなたの子孫と呼ばれるであろう」と言われていたのであった。¹⁹彼は、神が死人の中から人をよみがえらせる力がある、と信じていたのである。だから彼は、いわば、イサクを生かえして渡されたわけである。」

 **#5:** 神は必ずご自身の約束を成就されます。

4. 神のために堅く立つなら、決して失望することはありません。

創世記22:9-14「彼らが神の示された場所にきたとき、アブラハムはそこに祭壇を築き、たきぎを並べ、その子イサクを縛って祭壇のたきぎの上に載せた。¹⁰そしてアブラハムが手を差し伸べ、刃物を執ってその子を殺そうとした時、¹¹**主の使が天から彼を呼んで言った、「アブラハムよ、アブラハムよ**。彼は答えた、「はい、ここにあります」。¹²み使が言った、「わらべを手にかけてはならない。また何も彼にしてはならない。あなたの子、あなたのひとり子をさえ、わたしのために惜しまないので、あなたが神を恐れる者であることをわたしは今知った」。¹³この時アブラハムが目を見てみると、うしろに、角をやぶに掛けている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行ってその雄羊を捕え、それをその子のかわりに燔祭としてささげた。¹⁴それでアブラハムはその所の名を**アドナイ・エレ**と呼んだ。これにより、人々は今日もなお「主の山に備えあり」と言う。」

創世記22:15-18「主の使は再び天からアブラハムを呼んで、¹⁶言った、「主は言われた、『わたしは自分をさして誓う。あなたがこの事をし、あなたの子、あなたのひとり子をも惜しまなかったので、¹⁷わたしは大いにあなたを祝福し、大いにあなたの子孫をふやして、天の星のように、浜べの砂のようにする。あなたの子孫は敵の門を打ち取り、¹⁸また地のもろもろの国民はあなたの子孫によって祝福を得るであらう。あなたがわたしの言葉に従ったからである。』」

III. 選ばれた国民 — イスラエル

A. イサクの子ども — エサウとヤコブ

創世記25:21-26「イサクは妻が子を産まなかったので、妻のために主に祈り願った。主はその願いを聞かれ、妻リベカはみごもった。²²ところがその子らが胎内で押し合ったので、リベカは言った、「こんなことでは、わたしはどうなるでしょう」。彼女は行って主に尋ねた。²³主は彼女に言われた、「二つの国民があなたの胎内にあり、二つの民があなたの腹から別れて出る。一つの民は他の民よりも強く、兄は弟に仕えるであらう」。²⁴彼女の出産の日がきたとき、胎内にはふたごがあった。²⁵さきに出たのは赤くて全身毛ごろものようであった。それで名をエサウと名づけた。²⁶その後に弟が出た。その手はエサウのかかをつかんでいた。それで名をヤコブと名づけた。リベカが彼らを産んだ時、イサクは六十歳であった。

1. ヤコブは霊的なものを求めましたが、エサウは肉体的なものを求め、神のことを軽んじました。ここでも、まったく異なる二種類の人が見られます。
2. エサウは、長男として与えられていた「長子の権利(長子の特権)」を、ただ空腹だったという理由で売ってしまいました。長子の権利には次のような意味がありました：父の財産の二倍の相続分を受けること、そして家族の肉体的・霊的な指導者となる権利(創世記25:27-34)
3. ヤコブが霊的祝福を奪う。目の見えないイサクはだまされ、エサウの代わりにヤコブを祝福してしまいました。エサウが戻ってきたとき、彼は非常に驚き、激しく怒りました。(創世記27:30-34)

創世記27:35-36「イサクは言った、「あなたの子が偽ってやってきて、あなたの祝福を奪ってしまった」。³⁶エサウは言った、「よくもヤコブと名づけたものだ。彼は二度までもわたしをおしのけた。さきには、わたしの長子の特権を奪い、こんどはわたしの祝福を奪った」。また言った、「あなたはわたしのために祝福を残しておかれませんでしたか」。

4. ここから先の物語。
 - a. ヤコブはエサウの怒りを恐れて、叔父ラバンのもとへ逃げなければなりません。ハランへ向かう途中、ベテルで神と出会う経験をします。

- b. ヤコブはラバンの娘ラケルと結婚するために7年間働きました。しかしラバンに騙され、レアを妻として与えられました。その後、ヤコブはさらに7年間働き、最終的にラケルとも結婚しました。
- c. その後、ラバンにだまされたヤコブとラケルは、ラバンをだまして彼の家を離れ、逃げ出しました。逃げている途中で、エサウが400人の人を連れて自分のところへ向かって来ているという知らせを聞きます。
- d. それまでの間、ヤコブは人生の中で神に頼ることがありませんでした。しかしこの出来事が、ヤコブの人生の転機となりました。
- e. その後、ヤコブは神と個人的に出会う経験をしました。彼は神の現れと格闘し、その結果、足を引きずるようになりました。ヤコブが足を引きずって歩くようになったことは、もはや自分の力に頼ることができず、神に頼らなければならないことを示すしるしとなりました。(創世記27章、29章、32章)

💡 #6: 神は、私たちが自分の力ではなく、神の_____に頼ることを望んでおられます。



ヤコブ (イスラエル)

創世記48:1～49:33

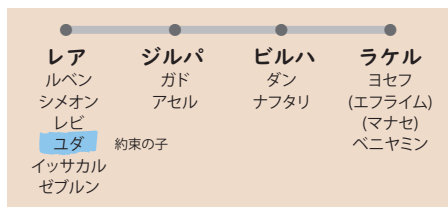
創世記32:27-28「その人は彼に言った、「あなたの名はなんと言いますか」。彼は答えた、「ヤコブです」。²⁸その人は言った、「あなたはもはや名をヤコブと言わず、イスラエルと言いなさい。あなたが神と人との、力を争って勝ったからです」。」

- f. 神はヤコブの名前をイスラエルに変えられました。イスラエルとは「神と共に戦う者(神と共に勝利する者)」という意味です。ここからイスラエルの国と、イスラエルの十二部族の歴史が始まります。

B. イスラエルの子ら

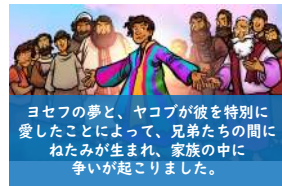
1. イスラエル(ヤコブ)には12人の息子がいました。

- ①ルベン、②シメオン、③レビ、④ユダ、⑤ゼブルン、⑥イッサカル、⑦ダン、⑧ガド、⑨アセル、⑩ナフタリ、⑪ヨセフ(エフライム、マナセ)、⑫ベニヤミン



2. ヨセフの夢と、ヤコブが彼を特別に愛したことによって、兄弟たちの間にねたみが生まれ、家族の中に争いが起こりました。兄弟たちはヨセフを殺そうと計画しましたが、最終的には彼を殺さず、奴隷として売ってしまいました。

創世記37:3-4「ヨセフは年寄り子であったから、イスラエルは他のどの子よりも彼を愛して、彼のために長そでの着物をつくった。⁴兄弟たちは父がどの兄弟よりも彼を愛するのを見て、彼を憎み、穏やかに彼に話ることができなかった。」



創世記37:28「時にミデアンびとの商人たちが通りかかったので、彼らはヨセフを穴から引き上げ、銀二十シケルでヨセフをイシマエルびとに売った。彼らはヨセフをエジプトへ連れて行った。」



創世記39:1「さてヨセフは連れられてエジプトに下ったが、パロの役人で侍衛長であったエジプトびとポテパルは、彼をそこに連れ下ったイシマエルびとらの手から買い取った。」

3. ヨセフはポティファルの家で働いている間に、主人ポティファルの信頼と好意を得ました。しかし同時に、ポティファルの妻の関心も引くようになりました。彼女はヨセフを誘惑しようとしたが、ヨセフはその場から逃げました。その後、ヨセフは犯していない罪を着せられ、牢屋に入れられてしまいました。

創世記39:20「そしてヨセフの主人は彼を捕えて、王の囚人をつなぐ獄屋に投げ入れた。こうしてヨセフは獄屋の中におったが、」



4. ヨセフは牢屋にいる間にも、看守の信頼を得て、牢屋の管理を任されるようになりました。彼は、同じ牢にいたパロの宮廷の二人の役人の夢を解き明かしました。そして、その夢の解釈はそのとおりに成就しました。そのうちの一人は釈放され、再びパロに仕える職務に戻りました。

5. 数年後、この役人は、パロが夢を見たときにヨセフのことをパロに思い出して伝えました。ヨセフがパロの夢を正しく解き明かした後、彼はパロに次ぐエジプトの第二の支配者に任命されました。この地位によって、ヨセフ自身が見た夢も実現し、彼は大きな飢饉から自分の家族を救うことになりました。



創世記41:39-40「またパロはヨセフに言った、「神がこれを皆あなたに示された。あなたのようにさとく賢い者はない。⁴⁰あなたはわたしの家を治めてください。わたしの民はみなあなたの言葉に従うでしょう。わたしはただ王の位でだけあなたにまさる。」」

6. ヨセフの家族は食物を買うためにエジプトへ行き、ヨセフの前にひれ伏しました。これは、ヨセフが見た夢の成就でした。その後、イスラエル(ヤコブ)と家族全員はエジプトへ移住し、エジプトの中で最も良い土地を与えられました。

創世記46:5「そしてヤコブはベエルシバを立った。イスラエルの子らはヤコブを乗せるためにパロの送った車に、父ヤコブと幼な子たちと妻たちを乗せ、」

創世記46:27-29「エジプトでヨセフに生れた子がふたりあった。**エジプトへ行ったらヤコブの家の者は合わせて七十人であった。**²⁸さてヤコブはユダをさきにヨセフにつかわして、ゴセンで会おうと言わせた。そして彼らはゴセンの地へ行った。²⁹ヨセフは車を整えて、父イスラエルを迎えるためにゴセンに上り、父に会い、そのくびを抱き、くびをかかえて久しく泣いた。」

7. ヨセフは、自分に起こったすべての悪い出来事を神が良いことのために用いられたのだと悟り、兄弟たちを赦しました。

創世記50:19-21「ヨセフは彼らに言った、「恐れることはありません。わたしが神に代る事ができますか。²⁰あなたがたはわたしに対して悪をたくらんだが、神はそれを良きに変らせて、今日のように多くの民の命を救おうと計らわれました。²¹それゆえ恐れることはありません。わたしはあなたがたとあなたがたの子供たちを養いましょう」。彼は彼らを慰めて、親切に語った。」



 **#7:** _____は神の恵みを解き放ちます。赦さない心は神を締め出してしまいます。

- C. ヨセフが活着ている間はすべて順調でしたが、ヨセフが死んだ後、状況は変わり始めました。

1. **出エジプト記1:8**「ここに、ヨセフのことを知らない新しい王が、エジプトに起った。」

ここからイスラエル人の本当の苦しみが始まります。**レッスン4**では、イスラエル人の経験から学ぶ重要な教訓についても学びます。

Tokyo Worship Tabernacle Bible School 2026
[Material based on "God's Plan Revealed", Joy Fellowship, Singapore]

東京賛美の宮聖書学校2026

[「神の計画が明らかに」、ジョイ・フェローシップ、シンガポール、に基づく資料]

Tokyo Worship Tabernacle 東京賛美の宮

Japan United Pentecostal Church :: 日本ユナイテッドペンテコステ教会

Toshin Building B2F 4-33-10 Yoyogi, Shibuya-ku, Tokyo 151-0053

〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-33-10 トーシンビルB 2F

03-3377-5768

www.tokyoworshiptabernacle.org • tokyoworshiptabernacle@gmail.com